



## すぐやる課発足50周年・記念式典及びイベントについて

### ◆発足の経緯・理念

市政についての要望を緊急処理してまいりました「すぐやる課」は昭和44年10月6日に発足して以来、今年で50周年を迎えます。

市民の声が多様化した1960年代、市内の道路や側溝などの補修や清掃、環境衛生の問題など市民生活に直接影響のある要望が増加しましたが、市の予算や時期、担当部署によってはすぐに対応できないことが少なくありませんでした。そのような状況を払拭し、「すぐやらなければならないものですぐやり得るものはすぐにやります」の理念の基、市民要望に迅速に対応できるようにするために、「すぐやる課」を全国自治体で初めて、当時の松本清市長が立ち上げました。

### ◆すぐやる課50周年記念式典

- 日 時 令和元年10月6日（日） 13時～15時  
場 所 KITE MITE MATSUDO（キテミテマツド）広場  
内 容 市長式辞・市議会議長挨拶、記念品贈呈、松戸市の魅力や市役所に関するクイズ他  
※各出席者よりご挨拶を頂く予定です。



### ◆すぐやる課50周年記念イベント（第46回松戸まつり）

「パネル展示（すぐやる課の年表等）、蜂の相談コーナー（養蜂家）」

- 日 時 令和元年10月6日（日）10時～15時  
場 所 松戸駅西口デッキブース出店

### ◆その他記念事業

○広報まつど「すぐやる課」発足50周年特集号（9月15日発行）

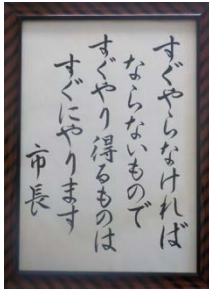
※広報まつど定期号に折り込み

○すぐやる課50周年記念パネル展示

- 期間 10月1日（火）～10月8日（火）  
時間 8時30分～17時  
会場 松戸市役所1階連絡通路  
内容 パネル7点を展示（予定）



やさシティ、まつど。  
matsudo



松本清市長直筆



松本清市長



初代すぐやる課長

・臼井銀次郎氏



すぐやる課職員



**【問い合わせ先】**

総合政策部すぐやる課

☎ 047-366-7302

# 《すぐやる課

## 【おびなる課の歩み】

### 一九六九年（昭和四十四年）

- すぐやる課設置の議案が議会に上程され可決する。
- すぐやる課が設置され、初代すぐやる課長に臼井銀次郎が任命される。
- 二名体制でスタートし、初日の要望十六件を処理する。
- 十月には、三名の職員が増員となり、五名体制となる。

### 一九七〇年（昭和四十五年）

- 課名をまねた和菓子「寿久弥留菓」ができる。
  - 設置後一年が経過し、二七〇二件の要望を処理する。
- 《すぐやる課姉妹版として、次々と設置される。》

- ・なんでもすぐやる班（日立市）
- ・緊急処理班（行田市）
- ・すぐやる係（土岐市）
- ・特設補修班（流山市）
- ・道路パトロール班（市原市）
- ・すぐ出動する機動班（船橋市）
- ・町民クイックサービス係（石川県山中町）
- ・ハイただいま係（福井市）
- ・市政五〇〇番（千葉市）

### 一九七一年（昭和四十六年）

- 一名の職員が増員となり、六名体制となる。
- 「すぐやる課応援団」が発足される。（十八人でスタート）
- 「すぐやる課太平記」（扇谷正造著）が出版される。

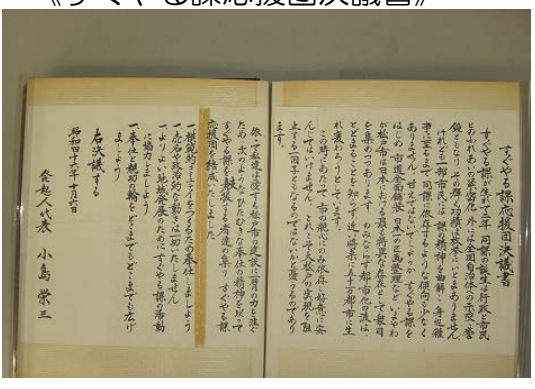
《課内の様子》



《課の前で！臼井課長》



《すぐやる課応援団決議書》



# の変遷

## 【松戸市の出来事】

- 第九代市長に「松本清」氏就任。
- 根木内、栗ヶ沢、松飛台小学校が開校し、五香消防署が開署。
- 市内初のデパート「扇屋」が開店。
- すぐやる課が誕生。**

《すぐやる課取材（フジ：3時のあなた）》

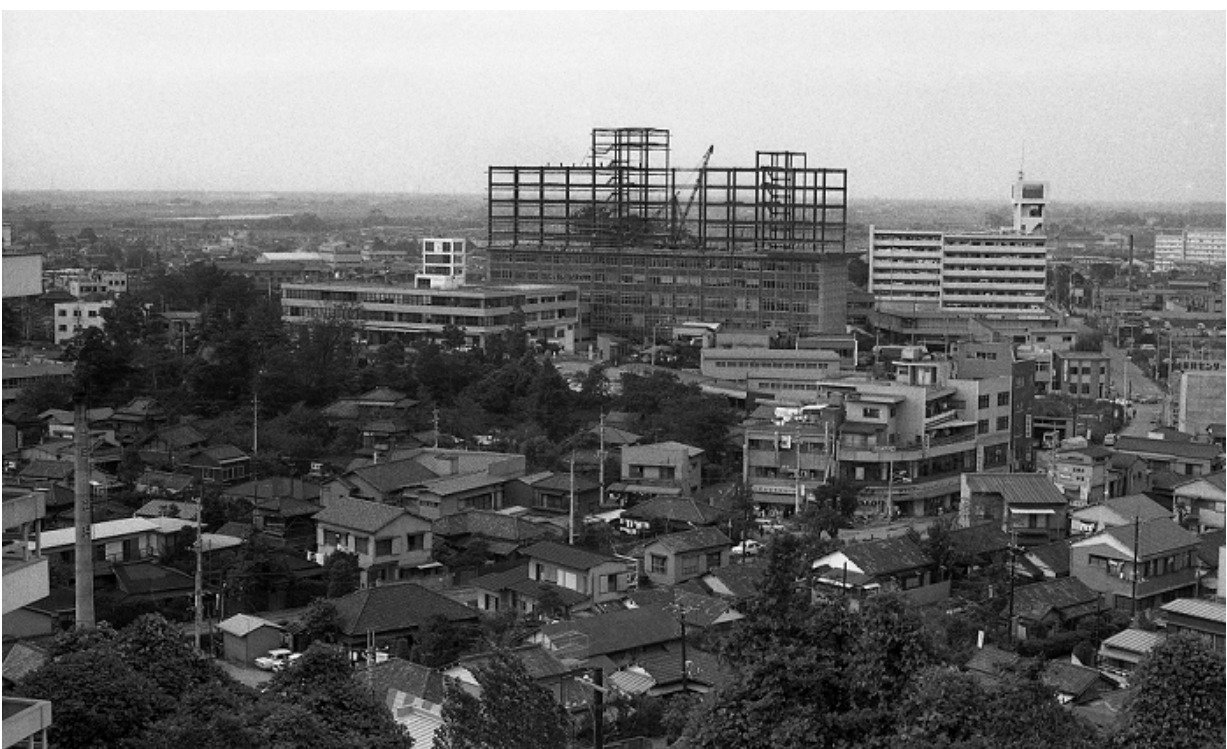


- 市役所新館が完成。（本館は昭和三十四年度に完成）
- デパート「長崎屋」が開店する。
- 県下初の市立林間学校を軽井沢に開設する。
- 養護老人ホーム「松風荘」が開所。
- 松ヶ丘小学校が開校。
- 県立松戸養護学校が開校。
- 松戸駅新駅舎が完成する。

《市役所本館》



《市役所新館建設中（5月に完成する。）》



- 豪州のボックスヒル市（現在ホワイトホース市）と姉妹都市提携。
- 市川松戸有料道路が全線開通。
- 柿の木台、古ヶ崎、六実、八ヶ崎小学校が開校し、日本大学松戸歯学部も開校。
- ユーカリ交通公園が開園。運動公園に武道館とプールが完成する。

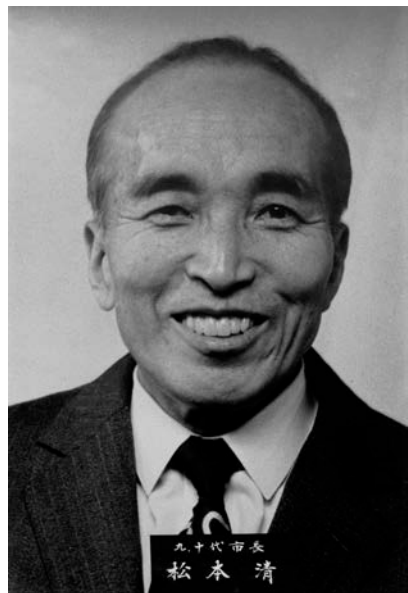
一九七二年（昭和四十七年）

- 「すぐやる課浴衣」が誕生。  
（市の木ユウカリの絵とすぐやる課の文字を染めた浴衣）
- 「すぐやる課音頭」が発表される
- 江戸川で謎の怪物が目撃される。（マントドンと命名）

一九七三年（昭和四十八年）

- すぐやる課生みの親、松本清市長が再選から三か月後に心不全で死去。（六十四歳）
- すぐやる課発足四年で、苦情処理一万件を突破。

《第9・10代市長松本清》



《作曲及び歌手：中島季次郎》



一九七四年（昭和四十九年）

- 初代すぐやる課長臼井銀次郎が胃がんで逝去。（五十四歳）
- 一名の職員が増員となり、七名体制となる。
- 「すぐやる課長奮戦記」が東京コマ劇場で上演される。
- 第二代すぐやる課長に荒木恒司氏就任。

《つるはしを持つ臼井課長》



一九七七年（昭和五十二年）

- 第三代すぐやる課長に友野守氏就任。
- すぐやる課をモチーフとした「すぐやる一家青春記」がTBS系で放映される。



出展：TBSチャンネル  
<http://www.tbs.co.jp/tbs-ch/>より

一九八二年（昭和五十七年）

- すぐやる課誕生から、要望処理件数が四万件を突破する。
- 台湾、台北政府派遣の研修団一行が来日し視察に訪れる。
- 東南アジア八か国の留学生三十三名が来日し行政視察に訪れる。

《台湾台北政府派遣団一行》



- 常盤平に初の市民センターがオープンする。
- 栗ヶ沢公園庭球場が完成。運動公園に野球場が完成する。
- 梨香台、寒風台小学校が開校。
- 市立病院に未熟児センターが設置される。

○市の人口が三十万人を突破。

○松本市長急逝に伴う市長選挙で第十一代市長に宮間満寿雄氏が当選。

○千葉県国民体育大会（若潮国体）が開催。松戸市は庭球と自転車競技を開催。

《第11～16代市長宮間満寿雄》



○第一回松戸まつり・こどもまつりが開催される。

○運動公園の体育館及び市立図書館の新館がオープンする。

○北山市民会館と斎場が完成する。

○河原塚小学校が開校。

○伊勢丹松戸店が開店。

《S49.10月第1回松戸まつり開催》



○第十二代市長に宮間満寿雄氏が就任。

○衛生会館が完成する。

○横須賀、八ヶ崎第二、六実第二小学校が開校。

○馬橋消防署が開署。

《5月に開署した馬橋消防署》



○第一回松戸マラソンが開催。

○矢切支所が七番目の支所として開所。

○古ヶ崎南小学校が開校。

《7番目の支所として矢切支所が開所》



一九八二年（昭和五十八年）

○第四代すぐやる課長に野々下純生氏就任。

○機構改革により『すぐやる課は広聴部に所属』との提案が九月議会に提出されるが、従来どおり市長直属のままとなる。

一九八八年（昭和六十二年）

○第五代すぐやる課長に渡辺忠氏就任。

○すぐやる課発足二十年で要望処理六万件を突破。

《すぐやる課作業車両 3号》



一九九二年（平成五年）

○第六代すぐやる課長に豊田繁一氏就任。

○スズメバチ等の巢の駆除件数二百五十五件を処理。

《すぐやる課作業車両 4号》



一九九四年（平成六年）

○すぐやる課発足から二十五周年を迎える。

○スズメバチ等の巢の駆除件数六百三十五件を処理（前年の二倍）。

《10月20日号 広報まつど すぐやる課特集》



- 市役所の窓口業務をオンライン化。
- 市内全小中学校に視聴覚機器（VTR装置）を配備する。
- 幸谷小学校及び県立松戸秋山高校（現・松戸向陽高校）が開校。
- 消防局新庁舎が完成し、また東部支所が開所する。

《8番目の支所として東部支所が開所》



- 「矢切の渡し」が房総の魅力五百選に入選する。
- 県旅券事務所東葛飾分室がオープンする。
- 市営白井聖地公園が第一回目の公募を開始。
- 日暮クリーンセンターが稼動開始。

《市内観光名所の一つ「矢切の渡し」》



- 第十六代市長に宮間満寿雄氏が就任。
- 市制施行五十周年記念式典を挙行。
- 二十一世紀の森と広場及び市立博物館がオープン。
- 北小金駅南口再開発ビル「ピコティ」に小金支所が移転する。

《4/29 オープンした21世紀の森と広場》



- 第十七代市長に川井敏久氏が就任。
- 幸田貝塚出土品が国の重要文化財に指定（松戸市立博物館）。
- 二十一世紀の森と広場に自然生態園がオープン。
- 姉妹都市ボックス・ヒル（豪）が、合併によりホワイトホース市となる。

《第17～20代市長 川井敏久》



《千葉県幸田貝塚出土品》





## 一九九六年（平成八年）

- 大幅な機構改革により、三名の女性職員が増員となり、十名体制となる。
- すぐやる課に、女性隊「ユニ21」が設置され、五月より本格的に稼動する。
- スズメバチ等の巣の駆除件数四百二十八件を処理。

## 一九九七年（平成九年）

- 第七代すぐやる課長に中里隆夫氏就任。
- 「スズメバチ」と題して、TBS系（花まるマーケット）で放映される。
- スズメバチ等の巣の駆除件数五百九十八件を処理。

《スズメ蜂の巣》



## 二〇〇一年（平成十二年）

- 第八代すぐやる課長に照井年二氏就任。
- 一名の職員が増員となり、十一名体制となる。
- すぐやる課発足から要望処理件数が十万件を突破する。
- 韓国南海守（役所）の土木関係者十名が行政視察。
- スズメバチ等の巣の駆除件数千九十二件を処理。
- フジ「特ダネ」、NHK「首都圏NW」、日テレ「プラス1」の取材を受ける。

《壁に作られたミツバチの巣の除去作業》



## 二〇〇二年（平成十五年）

- 第九代すぐやる課長に渡辺正明氏就任。
- 「TRY娘の社会体験」と題して、TBS系・うわさの東京マガジンで放映される。
- すぐやる課発足から要望処理十一万件を突破。
- スズメバチ等の巣の駆除件数千二百七十七件を処理。
- フジ「スーパーニュース」、日テレ「ズームイン」の取材を受ける。

- 松戸花火大会四年ぶりに復活。
- 和名ヶ谷スポーツセンターがオープンする。
- 八ヶ崎消防署が開署。

《8月松戸花火大会が開催》



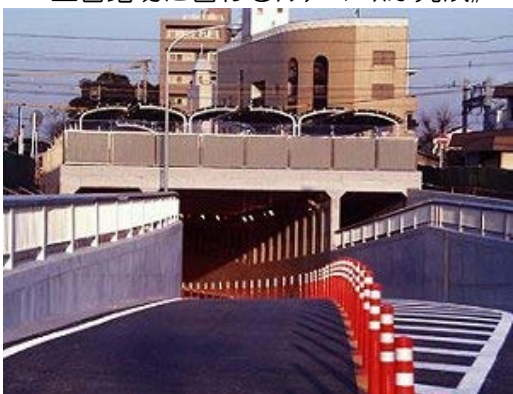
- 松戸市のホームページを開設。
- 粗大ゴミの収集が有料制になる。
- 市営駐輪場を有料許可制になる。(順次)
- 大谷口歴史公園がオープン。
- 松戸南郵便局が開局。

《4/6 オープンした大谷口歴史公園》



- 松戸市民栄誉賞の贈呈。(帝国ホテル料理顧問の村上信夫氏、阪神タイガース打撃コーチの和田豊氏、宇宙飛行士の角野直子氏)
- ゴミの分け方・出し方を五分別から八分別に変更。
- 豪州のホワイトホース市との姉妹都市提携が三十周年を迎える。
- 松戸駅東口にエレベーターが設置される。
- 五香立体本線車道部(新京成アンダーパス)が開通する。

《2/21 交通渋滞解消として新京成五香踏切に替わるアンダーパスが完成》



- 皇后陛下が戸定歴史館を訪問され「現代かな書の最高峰 藤岡保子展」を鑑賞。
- 「松戸市行政サービスセンター」がJR松戸駅東口にオープン。
- 市政施行六十周年を記念し「小澤征爾 新日本フィルコンサート」等、多くの記念行事が開催される。

- オウム真理教(アールフ)の信者が市外に退去する。

## 二〇〇四年（平成十六年）

- 「ドキュメントDash Dash」と題してTBS系で放映される。
- スズメバチ等の巣の駆除件数千四百三十六件を処理。

《蜂駆除用防護服》



## 二〇〇五年（平成十七年）

- 第十代すぐゆる課長に大竹忠重氏就任。
- 「TRY娘・初体験スペシャル」と題して、TBS系（うわさの東京マガジン）で放映される。

- パートナー講座を開催。（講座名は「すぐゆる課は、こんな仕事をしています」）
- スズメバチ等の巣の駆除件数千百六十六件を処理。
- TBS「イブニング5」、テレビ東京「出沒！アド街ック天国」の取材を受ける。

《H17.9/13~16  
「TRY娘初体験SP」で放映。》

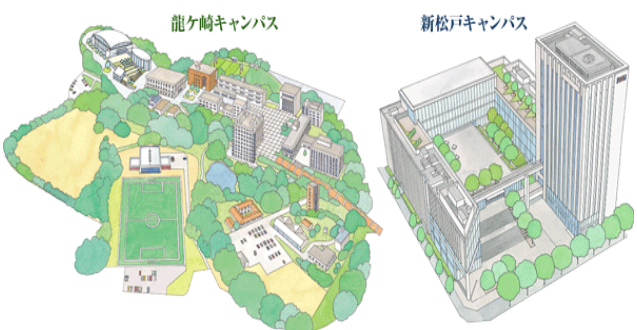


## 二〇〇六年（平成十八年）

- 一名の職員が増員となり、十二名体制となる。
- すぐゆる課発足から要望処理十二万件を突破。
- 「十月六日 今日は何の日」と題して、日本テレビ系・おもいっきりテレビで放映される。
- カンボジア青年行政官二十九名が行政視察。
- スズメバチ等の巣の駆除件数千五百三十五件を処理。

- 流通経済大学「新松戸キャンパス」が新松戸ダイエー前に開校。
- 「松戸市夜間小児急病診療所」を開設。
- 「千駄堀スポーツ広場」オープン。
- 市内三小学校を統廃合する条例改正案が可決。
- 女性センター「ゆうまつど」がリニューアルオープン。

《H16.4月に開校した流経大新松戸キャンパス》



- 天皇陛下が建具メーカー「ハリマ産業株式会社」(松戸新田二二九番地)を視察。
- 二〇〇五千葉きらめき高校総体開催。(松戸市は自転車競技とフェッシング競技)
- 市内小学校の全児童に防犯ブザーを配布する。
- 市議会本会議のインターネット録画放送開始。
- 戸定邸から眺める富士山が「関東の富士見百景(国土交通省)」に入選する。
- 市立病院で「電子カルテシステム」が稼動する。

《H17.7月ハリマ産業(株)をご視察になる天皇陛下》



《H18.7/5 戸定邸が国の重要文化財に指定される》

《H19.2月に庭園、歴史館を含む戸定が丘歴史公園が日本歴史公園100選に選定される》

《h21.10/16 天皇皇后両陛下が訪問される》



《戸定邸と庭園を眺める》

- 第二十代市長に川井敏久氏就任。
- 「戸定邸」が国の重要文化財に指定される。
- ケニアの環境副大臣ワンガリー・マータイさんが新松戸南小学校に来校する。
- ホワイトホース市との姉妹都市提携三十五周年記念式典を開催。
- 根木内歴史公園が開園する。
- 松戸市夜間小児急病センターが開設。

二〇〇九年（平成二十一年）

○すぐやる課発足から要望処理十三万件を突破。  
○スズメバチ等の巣の駆除件数千五百五十九件を処理。

《3号の廃車に伴い新たにリースした1号》



《H21.12月 週刊女性》



○すぐやる課四十周年記念イベントを開催。

- ① 感謝状の贈呈
- ② 劇「ご老公時空漫遊記」すぐやる課 明日に向かって！
- ③ パネルディスカッション（すぐやる課の四十周年と今後の展望について）
- ④ 市立第一中学校吹奏楽部、合唱部の発表
- ⑤ 「すぐやる課」の歌と踊り

《松戸市民会館ホール入口》



《臼井課長令夫人臼井喜代子様に感謝状の贈呈》



《劇「ご老公時空漫遊記」  
《すぐやる課 明日に向かって！》



《市立第一中学校吹奏楽部の演奏》



- 天皇皇后両陛下が戸定歴史館へ行幸啓。
- 千葉大学園芸学部松戸存続が正式決定。
- すぐやる課発足四十周年記念式典を開催。
- 机、椅子の寄贈に対する感謝式典に出席するため、市長がカンボジアを訪問。
- 全日本合唱コンクールで「第一中学校」が金賞、全日本吹奏楽コンクールで「第四中学校」が金賞、「和名ヶ谷中学校」が銀賞を受賞
- 松戸市出身の西武ライオンズ捕手秀章選手に松戸市民栄誉賞の授与決定。

《広報まつど 9/15号に掲載。また、この取材のときは中学生の体験学習と重なりました。》

《天皇皇后両陛下が戸定歴史館へ行幸啓》



子どもたちも体験しました  
笑顔とありがとう  
「すぐやる課」の1日

「すぐやる課」の理念  
「安全・安全な生活をお手伝い」

すぐやる課 40周年記念イベントを開催します  
10月6日(水)午後2時～4時25分(午後1時30分開始) 会場 市民会館 費用 無料

展示コーナーを設け  
10月2日(日)～15日(日) 展示会場 松戸駅東口駅前広場

すぐやる課1日仕事体験を終えて

すぐやる課からのお願い

「すぐやる課」の理念  
安全・安全な生活をお手伝い

すぐやる課40周年記念イベントを開催します  
10月6日(水)午後2時～4時25分(午後1時30分開始) 会場 市民会館 費用 無料

展示コーナーを設け  
10月2日(日)～15日(日) 展示会場 松戸駅東口駅前広場

すぐやる課1日仕事体験を終えて

すぐやる課からのお願い

《松戸市民栄誉賞を受賞した涌井秀章選手》



《千葉大学園芸学部正門前》



「すぐやる課」の理念  
安全・安全な生活をお手伝い

すぐやる課40周年記念イベントを開催します  
10月6日(水)午後2時～4時25分(午後1時30分開始) 会場 市民会館 費用 無料

展示コーナーを設け  
10月2日(日)～15日(日) 展示会場 松戸駅東口駅前広場

すぐやる課1日仕事体験を終えて

すぐやる課からのお願い

二〇一〇年（平成二十二年）

○第十一代すぐゆる課長に秋葉博章氏就任。

○一名の職員が減となり、十一名体制となる。

○BSロテシ「よい国のニュース」という番組で取材を受ける。

○スズメバチ等の巣の駆除件数千六百二十六件を処理。

○市町村合併の影響か、「すぐゆる課」が再度脚光を浴びるようになる。

- ・静岡県島田市 「すぐゆる課」 平成十四年四月
- ・東京都世田谷区 「すぐゆる課」 平成十五年六月
- ・沖縄県西原町 「すぐゆる課」 平成十七年四月
- ・茨城県つくば市 「すぐ対応室」 平成十七年四月
- ・長野県朝日村 「すぐゆる係」 平成二十年四月
- ・茨城県常陸大宮市 「すぐ対応課」 平成二十年十月
- ・神奈川県大磯町 「すぐゆる室」 平成二十一年四月
- ・山口県長門市 「すぐゆる係」 平成二十一年五月
- ・福島県南相馬市 「すぐにやります課」 平成二十二年四月
- ・東京都葛飾区 「すぐゆる担当課」 平成二十二年四月
- ・沖縄県石垣市 「すぐゆる課」 平成二十二年六月

二〇一一年（平成二十三年）

○平成八年度に結成された「ユニ21」以来となる女性職員二名が配属される。

○一名の職員が減となり、十名体制となる。

○市内小学校の通学路パトロールを一つの業務と位置付け、毎年十二月から翌年の三月まで「すぐゆる課みまわり隊通学路パトロール中」として実施する。



《切り株からのハチの出入り！万全の体制で！》



《道路補修を行うすぐゆる課職員》

《H23.12/8 朝日新聞》

**集団登下校を徹底・柏署80人に増員**

**小中学校警戒続く**

松戸・柏 不審者情報相次ぐ

「すぐゆる課」がパトロール

下校時合わせた通学路

（以下、新聞記事の抜粋）

第 237 代大関琴欧州勝紀  
(ブルガリア国出身佐渡ヶ嶽部屋)



第 242 代大関琴奨菊和弘  
(福岡県柳川市出身佐渡ヶ嶽部屋)



第 243 代大関稀勢の里寛  
(茨城県牛久市出身鳴戸部屋)



- 東日本大震災による福島県からの避難者を受け入れる。
- 松戸版サマータイムが実施される。(午前八時から午後四時三十分)
- 馬橋支所が馬橋駅西口駅ビル(馬橋ステーションモール四階)に移転。
- 東日本大震災復興支援として「松戸花火大会」が開催される。
- 全日本吹奏楽コンクールで第四中学校が三年連続金賞の偉業を達成する。
- 大相撲で市内に三人の大関が誕生。(琴欧州、琴奨菊、稀勢の里)

《H22.5/18 建立》  
《天皇皇后両陛下下行幸啓記念碑》



《H22.6/13 松戸市長選 第 21 代～市長 本郷谷健次》



《H22.4/5 スパースシャトル イスカリアに搭乗し  
国際宇宙センターへ。4/20 帰還する。》



《プロフィール》  
 生まれ：S45.12..27 生  
 出身地：松戸市  
 略 歴  
 S61.3 月市立第一中卒  
 h元.3 月お茶ノ水女子大  
 付属高校卒  
 h5.3 月東京大学工学部  
 航空学科卒  
 h6.4 月米国刈ラット 大学  
 に留学  
 ・宇宙滞在期間は、  
 15日2h47分

《山崎直子宇宙飛行士》

- 第二十一代市長に本郷谷健次氏が当選。
- 天皇皇后両陛下下行幸啓記念碑を建立。
- 松戸市出身の山崎直子宇宙飛行士の帰還歓迎パレードを実施し、松戸市名誉市民の称号を贈る。
- ゆめ半島千葉国体が開催される。(松戸市は自転車競技とフェッシング協議)
- 松戸市が「緑の都市賞」として国土交通大臣賞を受賞。
- 第五十八回全日本吹奏楽コンクールで第四中学校が金賞、全日本合唱コンクールで第一中学校が金賞を受賞。
- 「アクセス特急」の東松戸駅停車が実現する。



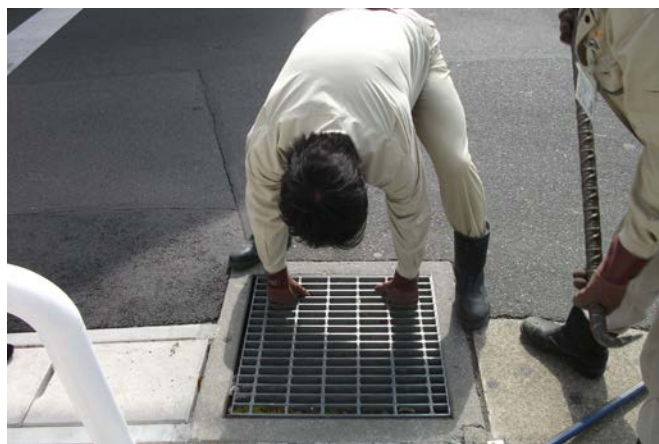
二〇二二年（平成三十四年）

- 第十二代すぐやる課長に渡辺武氏就任。
- すぐやる課発足から要望処理十四万件を突破。
- 日韓交流支援センターを通じ、韓国兵務庁職員十一名が行政視察。
- 松戸市地図情報提供サービスにおいて、要望処理マップの情報提供開始。
- スズメバチ等の巣の駆除件数二千百八十二件を処理。

《キイロスズメバチの巣の駆除作業の様子》



《集水桝に落ちた鍵を探すすぐやる課職員》



《韓国兵務庁職員とすぐやる課職員》



《H24年度すぐやる課要望処理マップ》



二〇二三年（平成三十五年）

- 市長直轄の所属であった「すぐやる課」は、平成三十五年四月の機構改革により「総合政策部」の所属となる。
- 第十三代すぐやる課長に秋葉博章氏就任。
- 平成三十二年以来となる新規採用職員が二名配属。
- 週刊誌『女性自身』にすぐやる課が紹介される。
- スズメバチ等の巣の駆除件数千三百一件を処理。

《平成25年度すぐやる課職員》



《道路上で市民により捕獲された陸亀》



《自動車のボンネット内に営巣したアシナガバチの巣（上下）》



松戸市制 70 周年記念ロゴマーク



《協定書に調印した本郷谷松戸市長（左）と千葉大学齋藤学長（右）》



市制施行 70 周年記念オリジナルナンバープレート見本（白）



- 松戸市制施行70周年を迎える。
- 松戸市と国立大学法人千葉大学間の連携における包括協定が締結される。
- 松戸六実ジュニアバドミントンクラブが全国小学生バドミントン大会に出場。
- 第五十回交通安全こども自転車千葉県大会の団体の部で八ヶ崎小学校が優勝。
- ロボカップジュニア世界大会に小金中学校科学部が出場。
- 県立小金高校放送局が第六十回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会に出場。
- 全国中学生弓道大会で第六中学校男子団体が二連覇・女子団体が5位入賞。
- 市制施行70周年記念オリジナル原動機付自転車ナンバープレートが交付開始。

《握手を交わすホワイトホース市長マーク・レーン氏と本郷谷松戸市長》



《市民栄誉賞受賞の天野医師》



《パラリンピック出場の齋藤選手》



- ホワイトホース市との姉妹都市提携が四十周年を迎え、記念式典を開催。
- 天皇陛下の心臓冠動脈バイパス手術を執刀した天野篤医師に松戸市民栄誉賞を贈呈。
- 全日本中学校陸上競技選手権大会女子4×100Mリレーで第一中学校が三位入賞。
- 小金中学校科学部がロボカップジュニア2012世界大会でセンサー賞を受賞。
- 全国中学生弓道大会で第六中学校（男子団体）と栗ヶ沢中学校・黒岩夏海さん（女子個人）が優勝
- ロンドンパラリンピックのアーチェリー競技に松戸市在住の齋藤紳一さんが出場。
- 第六十回全日本吹奏楽コンクールで和名ヶ谷中学校が金賞を受賞。

二〇一四年（平成二十六年）

○第十四代すぐやる課長に小島由紀夫氏就任。

○すぐやる課発足から四十五周年を迎える。

○一名の職員が減となり、九名体制となる。

○こども新聞にすぐやる課の取材記事が掲載される。

○読売新聞にすぐやる課が掲載される。

○スズメバチ等の巣の駆除件数千四百四十二件を処理。

《子ども新聞の取材の様子》



《読売新聞に掲載された写真》



二〇一五年（平成二十七年）

○第十五代すぐやる課長に吉岡義夫氏就任。

○スズメバチ等の巣の駆除件数千八百八件を処理。

○受験ジャーナルのこんな知ってる課？のコーナーですぐやる課が掲載される。

○地域新聞の地元のいいところランキングですぐやる課が5位に選出される。

《受験ジャーナルで紹介された記事の一部》



《地域新聞で紹介された地元のいいところランキング》

地元のいいところランキング

第1位 さくら通りの桜並木

第2位 21世紀の森と広場

第3位 戸定邸

第4位 ラーメン

第5位 **すぐやる課**

○U-17女子サッカーW杯で日本代表チーム優勝に貢献した市立松戸高等学校2年松本真末子選手が最優秀ゴールキーパー賞に当たるゴールデングローブを受賞。  
○市立病院に小児集中治療室（PICU）開設。  
○1984年に徳川昭武が造った別邸、戸定邸が落成130年を迎えた。  
○ダブルダッチの世界大会が東京都で開催され、新松戸西小学校の相田圭吾くん、世古歩己くん、荒木崇章くん（各六年生）と磯沼瑞香さん（四年生）がジュニア部門で優勝した。

《落成130年を迎えた戸定邸》



《ジュニア部門で世界チャンピオンになった相田選手、世古選手、荒木選手、磯沼選手》



《U-17女子サッカーW杯で日本チーム優勝に貢献しゴールデングローブを受賞した松本選手》



○専修大学松戸高校が松戸市初の甲子園出場。  
○インラインスケートワールドカップ（小学生の部）で加藤優弥さんが優勝。  
○松戸市で29年ぶりの新設校として、東松戸小学校が開校した。

○常磐線の上野、東京ライン開通。  
○旧徳川昭武庭園（戸定邸庭園）が国指定名勝に認定。  
○松戸南高校が写真甲子園2015で敢闘賞を受賞。

《専修大学松戸高校甲子園初出場》



《インラインスケートワールドカップで優勝加藤選手》



《常磐背、上野東京ライン開通式の様子》



二〇一六年（平成二十八年）

○第十六代すぐやる町山茂昭課長に就任

○スズメバチ等の巣の駆除件数千七百四十八件を処理。

○すぐやる課歴代職員が百代目を超える。

○発足からのすぐやる課要望処理件数が十五万件を超える。

○鹿児島FMのフレンズFMですぐやる課がインタビューを受ける。

《職場体験で道路補修を行う様子》



《大きなミツバチの分蜂》



《今年はこんなメンバーです》



二〇一七（平成二十九年）

○スズメバチ等の巣の駆除件数千七百二十七件を処理。

○BS日テレの「スズメバチの脅威2」ですぐやる課の蜂の駆除の様子が紹介される。

○小3女兒殺害事件を受け、通学路パトロール期間を延長する。

（BS日テレで放映された蜂の巣駆除の様子）



《女性職員も活躍しています》



《番組内で紹介されたモンスズメバチの駆除の様子》



○大関・琴奨菊。初場所優勝。松戸駅前にて優勝祝賀パレードを行う。  
○マイナンバー（社会保障・税・災害対策分野）利用開始。  
○オーストラリア。ホワイトホース市と姉妹都市締結45周年を迎える  
○リオデジネイロオリンピックパラリンピック開催、ウィルチエアラグビーで羽賀理之選手が銅メダル獲得。  
○東京オリンピック・パラリンピックにて、松戸市がルーマニアとドミニカ共和国のホストタウンに決定

《大関、琴奨菊の優勝パレードの様子》



《姉妹都市締結45周年を記念し、ホワイトホース市役所に訪問》



《市民からのお祝いのメッセージに笑顔のウィルチエアラグビー日本代表羽賀選手》



○北部市場が47年の歴史に幕を下ろす。

○「旧齋藤邸」が国の登録有形文化財（建造物）に市で初めて登録

○2年連続、国基準の待機児童0を達成

○松戸駅西口に観光案内所「FEEL MATSUDO」がオープン

○レスリング世界選手権の48kg級で六実出身の須崎優衣選手が優勝

○日経 DUAL 「共働きで子育てしやすい街2017」で全国1位に選出される。

○市立病院が移転し、市立総合医療センターが開院する。

《国の有形文化遺産に登録された齋藤邸》



《笑顔が輝く18歳の世界女王、須崎選手》



《すべての人に来てよかったと思われる病院を目指して 市立総合医療センター》



二〇一八年（平成三十年）

- 第十七代すぐやる課長に石原稔氏就任。
- スズメバチ等の巣の駆除件数千六百五十七件を処理。
- 発足からのすぐやる課要望処理件数が15万5千件を超える。
- 小学校通学路パトロール開始から八年経過、市内小学校（四十五校）の下校時間に合わせて巡回。

《キイロスズメバチの巣を防護服を着て駆除する  
すぐやる課職員》



《安全、防犯のために市内の小中学校周辺を走る、  
すぐやる課パトロール車》



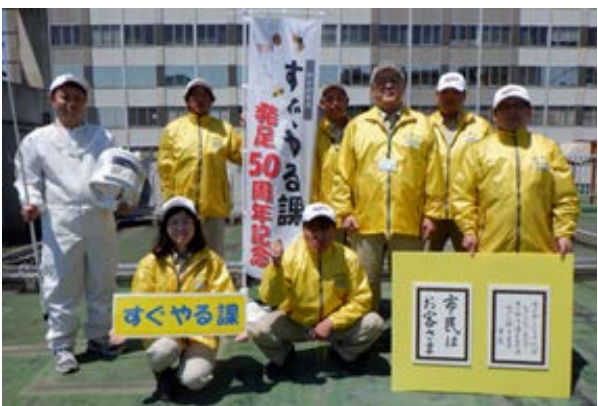
《市民のために蓋を上げ作業を行っている  
インターンの女子学生》



二〇一九年（令和元年）

- すぐやる課設立から10月6日で50周年を迎える
- 六実桜まつりにて、すぐやる課50周年PRイベントとしてブースの出店を行う。
- 徘徊高齢・行方不明者の探索について、高齢者支援課と連携し、新規業務として「徘徊高齢者探索パトロール」を実施する。
- あき家のスズメバチ等駆除について、住宅政策課 空家活用推進室と連携を図る。
- 10月6日に松戸まつりにて、『すぐやる課50周年式典』イベントを実施予定。

《令和元年度 すぐやる課職員》



《H31.4/6,7 六実桜まつりのイベントの様子》



○子育て支援PR動画「世界一の感謝状」が公開される

○伊勢丹松戸店が43年の歴史に幕を下ろす

○市長選挙で本郷谷市長3選を果たす

○松戸市初の高速道路・東京外環自動車道、松戸IC開通

○市民栄誉賞受賞のウエルチェアラグビーの羽賀理之選手が世界選手権で金メダルを獲得する

○レスリング世界選手権で六実出身の須崎優衣選手が2連覇、松戸市在中の皆川博恵選手が銅メダルを獲得する

《ユーチューブで視聴できる子育て支援PR動画「世界一の感謝状」》



《松戸インターチェンジ開通の際に行われたイベント》



《世界を舞台に奮闘するウエルチェアラグビーの羽賀選手》



○元号が「平成」から「令和」に改元する。

○ルーマニア男子リレーチーム表敬訪問。

○松戸市出身の力士琴ノ若関が、58年ぶりの関取りになる。

○松戸駅周辺が聖火リレールートに決定した。また、松戸中央公園にて最終聖火ランナー到着を祝う式典『セレブレーション会場』になる。

《新元号「令和」を発表する菅官房長官》



《陸上競技 ルーマニア代表チーム》



《琴ノ若関が松戸市を訪問》

